



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 東芝プラントシステム株式会社
 コード番号 1983 URL <https://www.toshiba-tpsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原園 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務 経理部長 (氏名) 内野 一博

TEL 045-500-7012

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	116,625	8.0	6,811	22.9	7,250	33.2	4,137	41.3
2019年3月期第2四半期	107,974	1.1	8,828	52.6	10,858	79.1	7,051	90.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,163百万円 (47.0%) 2019年3月期第2四半期 7,853百万円 (72.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.47	
2019年3月期第2四半期	72.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	259,321	158,992	61.2
2019年3月期	274,290	156,852	57.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 158,584百万円 2019年3月期 156,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		21.00		21.00	42.00
2020年3月期		26.00			
2020年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	5.8	18,500	9.1	19,000	14.9	12,800	10.8	131.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	97,656,888 株	2019年3月期	97,656,888 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	245,129 株	2019年3月期	245,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	97,411,784 株	2019年3月期2Q	97,412,044 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	… 2 ページ
(2) 財政状態に関する説明	… 3 ページ
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	… 3 ページ
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	… 4 ページ
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	… 5 ページ
四半期連結損益計算書	… 5 ページ
第2四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	… 6 ページ
第2四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	… 7 ページ
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	… 8 ページ
(継続企業の前提に関する注記)	… 8 ページ
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	… 8 ページ
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	… 8 ページ
(セグメント情報等)	… 9 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費や設備投資などの底堅い内需に支えられ、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、米中貿易摩擦などによる世界経済の減速懸念があり、輸出や生産の先行きは不透明感を増す状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、2019年度中期経営計画において「①高収益を着実に実現する事業の推進」、「②BCM(※)経営によるイノベーションの追求」、「③CSR経営の推進」を基本戦略として諸施策を積極的に推進しました。

事業領域の拡大においては、2019年6月に、株式会社ファームシップとの合弁会社として、人工光型植物工場における野菜の生産・育成及び販売事業を行う株式会社ベジノーバを設立し、2020年度の販売開始を目指しています。

また、2019年9月には、九州地方において発電事業を手掛けている株式会社シグマパワー有明に対し、20%の出資を実施しました。

この結果、受注高は978億5千5百万円、売上高は1,166億2千5百万円となりました。また、利益面につきましては、営業利益は68億1千1百万円、経常利益は72億5千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億3千7百万円となりました。

※BCM(Balanced CTQ Management)とは、企業の経営ビジョンを実現するための、財務やその他経営状況、経営品質を含めバランスのとれた経営を行うための方法論です。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

<発電システム部門>

受注高は、国内の火力発電設備等が増加しましたが、海外の火力発電設備等が減少し、ほぼ前年同期並みとなりました。売上高は、海外の火力発電設備等が減少しました。また、一部海外火力案件の工程遅延による工事費用の増加により経常損失となりました。

<社会・産業システム部門>

受注高は、国内の一般産業向け等が減少しました。売上高は、国内の一般産業向け及び太陽光発電設備等が増加し、これにより経常利益も増益となりました。

<その他>

受注高及び売上高ともに、前年同期並みとなりました。

セグメント別の受注高及び売上高等

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年 同期比	売上高 (百万円)	前年 同期比	経常利益 (百万円)	前年 同期比
発電システム部門	49,980	△1.6%	52,486	△9.9%	△1,202	—
社会・産業システム部門	47,836	△26.9%	64,099	29.0%	8,487	43.5%
報告セグメント計	97,816	△15.8%	116,586	8.0%	7,284	△32.8%
その他	39	△0.6%	39	△0.6%	△33	—
合計	97,855	△15.8%	116,625	8.0%	7,250	△33.2%

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から149億6千9百万円減少し、2,593億2千1百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他の増加36億1千7百万円があるものの、現金預金及び株式会社東芝へのグループ預け金の減少112億2千4百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少71億8千8百万円によるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から171億9百万円減少し、1,003億2千8百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等の減少109億6百万円、退職給付に係る負債の減少22億7千7百万円、未払法人税等の減少22億6千9百万円、未成工事受入金の減少12億2千9百万円によるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から21億4千万円増加し、1,589億9千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	20,545	19,462
グループ預け金	83,885	73,744
受取手形・完成工事未収入金等	112,551	105,362
電子記録債権	1,783	1,363
未成工事支出金	26,607	25,641
その他	7,164	8,057
貸倒引当金	△251	△235
流動資産合計	252,287	233,396
固定資産		
有形固定資産	6,915	7,226
無形固定資産	197	184
投資その他の資産		
その他	15,172	18,790
貸倒引当金	△282	△276
投資その他の資産合計	14,890	18,514
固定資産合計	22,003	25,924
資産合計	274,290	259,321
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	57,687	46,781
未払法人税等	4,671	2,401
未成工事受入金	24,831	23,601
役員賞与引当金	99	55
完成工事補償引当金	708	1,669
工事損失引当金	450	387
その他	12,272	10,937
流動負債合計	100,721	85,835
固定負債		
役員退職慰労引当金	27	13
退職給付に係る負債	16,260	13,983
資産除去債務	397	465
その他	30	30
固定負債合計	16,715	14,492
負債合計	117,437	100,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,876	11,876
資本剰余金	20,910	20,910
利益剰余金	124,568	126,661
自己株式	△168	△168
株主資本合計	157,186	159,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	72
繰延ヘッジ損益	86	16
為替換算調整勘定	317	216
退職給付に係る調整累計額	△1,148	△1,001
その他の包括利益累計額合計	△703	△696
非支配株主持分	369	408
純資産合計	156,852	158,992
負債純資産合計	274,290	259,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	107,974	116,625
売上原価	92,723	103,386
売上総利益	15,250	13,239
販売費及び一般管理費	6,422	6,428
営業利益	8,828	6,811
営業外収益		
受取利息	1,377	193
受取配当金	17	26
持分法による投資利益	27	9
為替差益	551	164
その他	62	103
営業外収益合計	2,035	497
営業外費用		
固定資産処分損	4	40
その他	1	17
営業外費用合計	6	57
経常利益	10,858	7,250
特別損失		
事業構造改革費用	-	30
減損損失	99	-
特別損失合計	99	30
税金等調整前四半期純利益	10,759	7,220
法人税、住民税及び事業税	2,718	1,972
法人税等調整額	987	1,093
法人税等合計	3,705	3,066
四半期純利益	7,053	4,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,051	4,137

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7,053	4,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	30
繰延ヘッジ損益	285	△69
為替換算調整勘定	150	△97
退職給付に係る調整額	375	146
その他の包括利益合計	800	9
四半期包括利益	7,853	4,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,840	4,145
非支配株主に係る四半期包括利益	12	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,759	7,220
減価償却費	292	337
減損損失	99	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,925	△1,458
受取利息及び受取配当金	△1,395	△220
有形固定資産売却損益 (△は益)	3	4
有形固定資産処分損益 (△は益)	4	40
売上債権の増減額 (△は増加)	5,903	8,125
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△4,430	997
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,940	△11,205
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	8,877	△1,196
その他	△1,778	△2,252
小計	9,432	366
利息及び配当金の受取額	1,447	256
法人税等の支払額	△4,005	△4,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,874	△3,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△820	△2,555
定期預金の払戻による収入	651	1,518
グループ預け金の預入による支出	△104,300	△79,950
グループ預け金の払戻による収入	66,950	119,020
短期貸付けによる支出	-	△14
短期貸付金の回収による収入	0	15
有形固定資産の取得による支出	△253	△736
有形固定資産の売却による収入	14	22
無形固定資産の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の取得による支出	△500	△4,688
長期保証金の支払による支出	△9	△49
長期保証金の返還による収入	31	13
その他	△47	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,287	32,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,948	△2,045
その他	△4	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,953	△2,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	△157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33,297	26,889
現金及び現金同等物の期首残高	99,289	29,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,992	56,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であったイーエス東芝エンジニアリング株式会社は、当社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅し、また、当社の連結子会社であった株式会社エス・ケー・エスは、当社の連結子会社である東芝エンジニアリングサービス株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、新たに設立した株式会社ベジノーバを連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、新たに出資した株式会社シグマパワー有明を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	発電 システム部門	社会・産業 システム部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	58,244	49,690	107,934	39	107,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	449	77	527	424	952
計	58,693	49,768	108,461	464	108,926
セグメント利益	4,928	5,913	10,842	15	10,858

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,842
「その他」の区分の利益	15
四半期連結損益計算書の経常利益	10,858

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	発電 システム部門	社会・産業 システム部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,486	64,099	116,586	39	116,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	625	46	671	407	1,079
計	53,111	64,146	117,258	447	117,705
セグメント利益又は損 失(△)	△1,202	8,487	7,284	△33	7,250

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物工場事業及び管理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,284
「その他」の区分の利益	△33
四半期連結損益計算書の経常利益	7,250

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新規で植物工場事業を開始しており、当該事業の開始により報告セグメントに含まれない「その他」を追加しております。また、国内関係会社の再編に伴い、一部の連結子会社の報告セグメントを、従来の「発電システム部門」から報告セグメントに含まれない「その他」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。